TimeTracker FX

データベース移行手順書

2016年3月



目次

[1 はじめに 3](#_Toc445282292)

[1.1 本資料の構成 3](#_Toc445282293)

[1.2 用語の定義など 3](#_Toc445282294)

[1.3 注意事項など 3](#_Toc445282295)

[2 移行元サーバマシンでの移行準備 4](#_Toc445282296)

[2.1 利用者に利用停止を案内する 4](#_Toc445282297)

[2.2 サーバマシンのTimeTracker FXをアップグレードする 4](#_Toc445282298)

[2.3 Server Managerでデータベースをバックアップする 5](#_Toc445282299)

[2.4 Server Managerでデータベースをアップグレードする 5](#_Toc445282300)

[2.5 移行元データファイルのコピー 7](#_Toc445282301)

[3 移行先サーバマシンでの環境構築 9](#_Toc445282302)

[3.1 SQL Serverをインストールする 9](#_Toc445282303)

[3.2 サーバマシンにTimeTracker FXをインストールする 9](#_Toc445282304)

[3.3 移行元データファイルをサーバに登録する 10](#_Toc445282305)

# はじめに

　本資料は、TimeTracker FX 3.5以前のデータベースを、SQL Server 2005からSQL Server 2012以降のバージョンへ移行するために必要な設定や手順を説明しています。

　データベースの移行にあたり、TimeTracker FXを最新バージョンへアップグレードする必要があります。

　また、本資料では、移行元サーバマシンと移行先サーバマシンが異なる前提で説明しています。

## 本資料の構成

　以下の章で構成されています。

|  |
| --- |
| **第1章　はじめに** 本章です。本資料に関する注意事項などを説明します。 |

|  |
| --- |
| **第2章　移行元サーバマシンでの移行準備** 移行元サーバマシンにて必要な手順を説明します。 |

|  |
| --- |
| **第3章　移行先サーバマシンでの環境構築**  移行先サーバマシンにて必要な手順を説明します。 |

## 用語の定義など

* **サーバマシン**

TimeTracker FXおよびSQL Server をインストールするコンピュータです。

* 情報アイコン・・・ 補足情報や有用な情報を示します。
* 注意アイコン・・・ 手順の中で、特に注意すべき情報を示します。

## 注意事項など

* ご利用の環境によっては、本資料の手順と異なる場合がございます。

予めご了承ください。

|  |
| --- |
| * このドキュメントに記載している情報（URL等のインターネットWebサイトに関する情報を含む）は、将来予告なしに変更することがあります。 * Microsoft、Windowsまたは、その他マイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。 * その他、記載された社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。 |

# 移行元サーバマシンでの移行準備

　本章では、移行するにあたって移行元サーバマシンでの必要な手順を説明します。

* 本章の操作は、サーバマシンの管理者権限をもったアカウントで操作してください。

## 利用者に利用停止を案内する

　利用者にTimeTracker FXを利用しないように案内します。

* 作業中に利用者がデータを更新すると、不整合が発生するおそれがあります。

## サーバマシンのTimeTracker FXをアップグレードする

　サーバマシンのTimeTracker FXをアップグレードします。

### インストーラを実行する

画面に従い、インストールを実行します。

使用許諾契約書の内容を確認し、インストール先を決定してください。

### セットアップタイプで[サーバマシンセットアップ]を選択する

サーバマシンで動作するサーバタスクの他に、Server Managerと全てのクライアントツー　　　　　ルをインストールします。

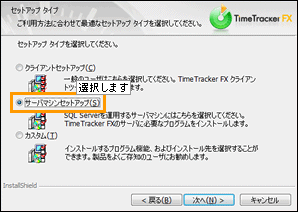


図 1 セットアップタイプ選択画面

### インストールを開始する

[インストール]ボタンをクリックすると、インストールを開始します。

インストール対象機能にServer Managerが含まれていた場合は、インストール完了後にライセンスキー登録画面が表示されます。

メールにて送付された[プロダクトID]と[ライセンスキー]を入力してください。

## Server Managerでデータベースをバックアップする

データベースをアップグレードすると、以前の状態に戻すことができません。

問題が発生した場合に備え、データベースをバックアップします。

### Server Managerを起動する

Server Managerを起動します。

インストール時にライセンスキーが未登録の場合は、インストール後のServer Manager初回起動時にライセンスキーの登録が必要です。

プロダクトIDとライセンスキーは、電子メールで送付しています。

### バックアップするデータベースの選択

[データベースの管理]から、バックアップする対象のデータベースを選択します。

### データベースサーバへの接続

データベースを管理するために、データベースサーバへ接続します。

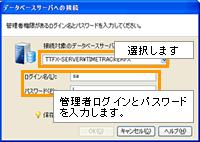


図 2 データベースサーバの選択画面

* ログイン名とパスワードを保存している場合は、[データベースサーバへの接続]ダイアログを表示しません。

### データベースをバックアップする

[バックアップと復元]から[手動でバックアップする]をクリックします。

## Server Managerでデータベースをアップグレードする

TimeTracker FXのデータベースをアップグレードします。

アップグレード後は、TimeTracker FX 3.6以降のバージョンでログインできます。

### データベース作成/更新ウィザードを開く

Server Managerを起動して、[データベースを新規に作成またはアップグレードする]をクリックし、[TimeTracker FX を最新版にアップグレードする]を選択します。

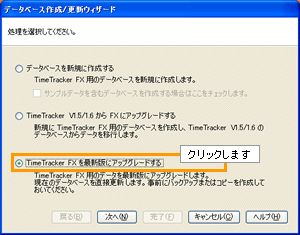


図 3 データベース作成/更新ウィザード

### サーバ接続情報を入力する

データベースのアップグレードに必要な情報を入力して、接続が成功することを確認します。

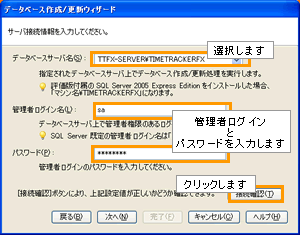


図 4　データベース作成/更新ウィザード

* 管理者ログインのパスワードが空白の場合は接続できません。パスワードを変更してください。
* [Windows認証]では接続できません。認証モードを[混合認証]に変更してください。
* 接続確認に失敗した場合は、以下の内容をご確認ください。
* データベースサーバ名が誤っていないか
* データベースサーバのサービスが停止していないか
* 管理者ログイン、またはパスワードが誤っていないか

### アップグレードするデータベースの選択

アップグレードするデータベースを選択します。

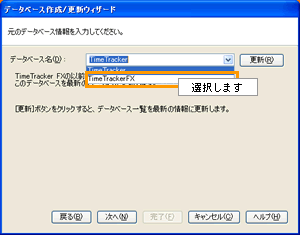


図 5 データベース作成/更新ウィザード

### ライセンスキーを登録する

[プロダクトID]と[ライセンスキー]を入力します。

* 登録済みの有効なプロダクトIDとライセンスキーが既定で表示されます。エディションやライセンス数等に変更がある場合は、この画面でプロダクトIDとライセンスキーを更新してください。
* プロダクトIDとライセンスキーは、電子メールで送付しています。
* [ライセンス情報]の[ライセンス数]、[有効期限]、[エディション]が正しいことを確認してください。

### アップグレードの実行

アップグレードの設定内容を確認し、[完了]ボタンをクリックします。

### サーバマシンでTimeTracker FXを起動する

サーバマシンでTimeTracker FXを起動し、アップグレード前のTimeTracker FXで利用していたアカウントでログインできることを確認します。

## 移行元データファイルのコピー

移行元サーバマシンのデータファイルを移行先サーバマシンにコピーします。

### データベースの選択

Server Managerを起動し、［データベースの管理］から、対象のデータベースを選択します。

### データベースサーバへの接続

データベースを管理するために、データベースサーバへ接続します。

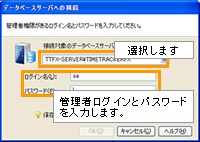


図 6 データベースサーバへの接続

* ログイン名とパスワードを保存している場合は、［データベースサーバへの接続］ダイアログを表示しません。

### データファイルのフォルダを開く

　［［データベース名］のプロパティ］の［データファイル］をクリックし、データファイルが保存されているフォルダを開きます。

* ［［データベース名］のプロパティ］の［データファイル］の値をメモしておいてください。メモは後の手順で使用します。
* ［［データベース名］のプロパティ］は、データベースの登録を解除すると、表示できなくなります。

### データベースの登録を解除する

　［データベースの登録解除と削除］の［データベースの登録を解除する］をクリックし、データベースの登録を解除（デタッチ）します。

* 稼働中のデータベースの登録を解除しないよう十分ご注意ください。
* 登録を解除すると、TimeTracker FXやデータベースサーバからはアクセスできません。
* 登録を解除したデータベースは、［データベースの作成と登録］の［既存のデータファイルをサーバに登録する］から登録できます。

### データファイルを移行先のサーバマシンにコピーする

［データファイルのフォルダを開く］でメモしておいたデータファイルを選択し、移行先のサーバマシンの任意のフォルダにコピーします。

# 移行先サーバマシンでの環境構築

　本章では、移行先サーバマシンでの必要な手順を説明します。

* 本章の操作は、サーバマシンの管理者権限をもったアカウントで操作してください。

## SQL Serverをインストールする

　弊社ナレッジベースにて、TimeTracker FX のデータベースサーバとして利用するために必要な設定や手順をご紹介しております。

　ナレッジベースの内容を参考に、SQL Serverをインストールしてください。

　□ナレッジベース - データベースのインストール・設定方法の詳細について

<http://www.timetracker.jp/support/documents/KB/#Server/KB061101_03.htm>

## TimeTracker FXをインストールする

　TimeTracker FXのサーバマシン用アプリケーション、管理ツールなどをインストールします。

　[autorun.exe]の、[TimeTracker FXをインストールする]をクリックします。

### インストーラを実行する

画面に従い、インストールを実行します。

使用許諾契約書の内容を確認し、インストール先を決定してください。

### セットアップタイプで[サーバマシンセットアップ]を選択する

サーバマシンで動作するサーバタスクの他に、Server Managerと全てのクライアントツールをインストールします。

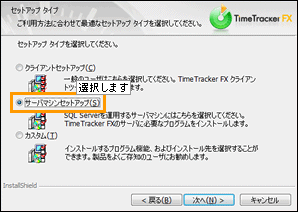


図 7 セットアップタイプ選択画面

### インストールを開始する

[インストール]ボタンをクリックすると、インストールを開始します。

インストール対象機能にServer Managerが含まれていた場合は、インストール完了後にライセンスキー登録画面が表示されます。

メールにて送付された[プロダクトID]と[ライセンスキー]を入力してください。

(ここで入力しない場合は、Server Manager起動時に入力できます)

## 移行元データファイルをサーバに登録する

　Server Managerを起動し、［データベースの作成と登録］の［既存のデータファイルをサーバに登録する］をクリックします。

### データベースサーバへの接続

データベースを管理するために、データベースサーバへ接続します。

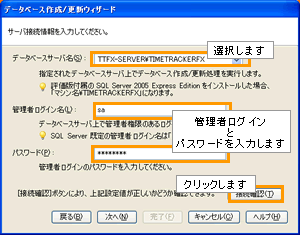


図 8　データベースサーバへの接続

### データファイルの選択

移行元のサーバマシンからコピーしたデータベースのデータファイルを選択します。

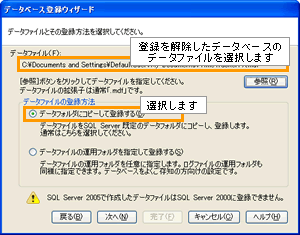


図 9 データベースファイルの登録

### データベース名の入力

登録するデータベース名を入力します。登録を解除する前のデータベース名と異なる名前も設定できます。

### サーバ設定ファイルの出力先フォルダを指定する

［参照］ボタンをクリックして、［サーバ設定ファイル］を出力するフォルダを指定します。

サーバ設定ファイルは、TimeTracker FXのログイン時に使用します。後の手順で必要となるため、出力先フォルダは忘れないようにメモしておいてください。

### データベースを登録する

設定内容を確認して、データベースの登録を開始します。

### サーバ設定ファイルを展開する

メモしておいたサーバ設定ファイルを利用者に展開します。

|  |
| --- |
| 以上でデータベースの移行は終了です。  TimeTracker FX 最新版の機能については、TimeTracker FXヘルプまたは弊社製品サイトをご参照ください。 |

以上■